

# 稚児ヶ池

(ちごがいけ)



ため池に浮かぶペダルボート



ため池の近景

「記紀の道」のルート図



## ため池の概要

### □ため池の所在地

宮崎県西都市

### □ため池の特徴

稚児ヶ池は、下流の水田約1haの農業用水として活用されているため池で、築造は江戸時代以前とされています。

稚児ヶ池には、治水のため自ら人柱となって人々を救った少年「法元長千代丸」の説話が伝わっており、この説話が池の名前の由来とされています。

また、国指定特別史跡西都原古墳群と西都市街地との中間に位置し、周辺に点在する神話の伝承地を結ぶ「記紀の道」(古事「記」・日本書「紀」)の一地点として知られています。

以前は水草が繁茂し悪臭の漂う環境劣化の著しい池でしたが、地元建設業協会・造園業協会などのボランティア活動を中心とした官民協働の努力により、水草は取り除かれ水質の改善が進み、見違えるほどに池の眺望は回復しました。

現在も、西都市とNPO法人「エコライフ・西都」を中心としたボランティア団体の協力で、水質浄化活動として、清掃やEM活性液の投入等が行われています。

毎年4月から10月にかけては、「稚児ヶ池の会」においてペダルボートが運営され、市内外を問わず多数の方に憩いの場として利用されており、水質浄化に関わるイベントと併せ、地域とも密接に関わる池となっています。

## 関連情報

エコライフ 西都 <http://www.machi-genki.net/npo-report/ecolifesaito/index.html>

# 巨田の大池

(こたのおおいけ)



ため池の近景



カモが群れるため池



鴨網猟

## ため池の概要

### □ため池の所在地

宮崎県宮崎市

### □ため池の特徴

巨田の大池は水田18haに農業用水を供給するため池で、冬期には多くの鴨が飛来し、周辺丘陵地とともに島津藩時代からの鴨の猟場として受け継がれています。

巨田池の鴨網猟は、池を取り巻く丘陵の樹木を凹型に伐採して通り道を作り、ここを通過する鴨に「越網」と呼ばれる網を投げ上げて捕らえる猟です。「上井覚兼日記(1586年)」にも記されている400年以上の歴史を持つ伝統的なもので、宮崎県の無形民俗文化財にも指定されています。

また、巨田池の西側に近接する巨田神社は831年の鎮座と伝えられ、三間社流造の本殿は国の重要文化財に指定されています。

神社では、400年の歴史を持つ巨田神楽が毎年奉納されており、巨田池周辺は歴史的にも高い価値のある地域となっています。

## 関連情報

・「佐土原町閉町記念誌」平成17年12月発行

・佐土原町合併特例区HP : <http://www.sadowara.city.miyazaki.miyazaki.jp/index.html>